

『一人危険予知（KY）』活動の実施について

< 参考資料 >
平成26年6月6日
東京電力株式会社

目的

作業開始直前に一呼吸（深呼吸）して、一人危険予知（KY）を行い、自問自答することで、ケガの予防、作業ミス・ヒューマンエラーの防止といった、危険の芽の摘み取りへの効果を期待。

活動内容

- ・協力企業の作業員および当社社員を対象に、「一人KY支援シート」を着替え場所（入退域管理棟および免震重要棟内）に設置。着替え時にタイベックの袖に各自で貼り付け、作業前のミーティングで行う危険予知（TBM-KY）後、個々人が作業の開始直前に「一人危険予知」を行うことで、「自分の身は自分で守る」意識を持つ。
- ・加えて、作業中の「うっかりミス」が多くなっていることから、各作業員に対して注意喚起ができるよう、元請けと当社が一体となった取り組みとして、「人身災害撲滅タスク」を設置。

< 参考 > 一人KY支援シート（見本）

サンプル

一人KY 支援シート

スローガン
【いつでも・どこでも一人KY】

*切れ・こすれ+熱中症

Q今日のあなたの作業内容は何ですか？
Q何処に危険が潜んでいますか？
Q塩分・水分は取ったか？体調は？
自問自答して危険の芽を摘み取ろう！

< 過去の実績からこんなところが要注意 >

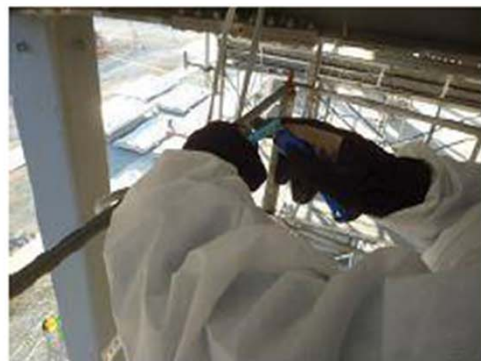
- カッターで誤って自分の手を負傷
- グラインダーにて左手人差指を負傷
- カッターで誤って自分の足を切り負傷

傷病者発生時の第一報は救急医療室へ！

救急医療室: XXXX-XX-XXXX, XXXX-XX-XXXX

本日もご安全に！

■ケーブルの被覆をカッターナイフではがす際、左手人差指を切創



■仮置していたグラインダーが、突然作動し左手人差指を切創

